

# 園庭がまた少し変わります!



11月20日・23日植樹予定

念願だった木を植えます!

外遊びに自然は欠かせません。私たちは、研修を始めた頃から園庭に木々を植えたいと考えていました。私たちが目指す「ありのままの自然」とはいかないものの、できるだけ多くの木を植えたいと願いつつ今年で5年目。ついにその日が訪れます。今回は、次の5本を植えることにしました。

- ・名前がユニークできれいな花を咲かせるサルスベリ
- ・落ち葉は腐葉土となり、地面に命をよみがえらせるケヤキ
- ・夏には昆虫を呼び、秋にはドングリを実らせるクヌギとミズナラ
- ・カエルの手のような形の大きな葉っぱで、秋には真っ赤に色づくトウカエデ

サルスベリ以外の4本は太く高い木になる予定です。夏には葉を茂らせて、強い日差しから子どもたちを守ってくれるでしょう。木が植わることで園庭の様子が変わるだろうと期待に胸が膨らみます。

11月27日・28日工事予定

これまでに感謝を込めて...

長い間、子どもたちの心を豊かに、そしてたくましい体に育ててくれた二つの遊具にお別れする時がきました。

- ・園庭東側にあるカラフルなすべり台  
遊具そのものを海賊船や宇宙船に見立てて遊んだり、狭いところが大好きな子どもたちにとって遊具下はお気に入りの場所でした。
- ・創立記念に設置した恐竜の遊具  
海を向こうの遠くの国からやってきたこの遊具には、たくさんの楽しむ要素がありました。吊り橋を渡る、太鼓橋をよじ登る、すべり台を滑る、雲梯にぶら下がる…高いところから園庭の様子を見渡すのも気持ちがよかったなあ…。

どちらの遊具もこれまでの園庭においてシンボリックな存在で、卒園後もここで遊んだ光景がよみがえるでしょう。少し寂しい気もしますが、これからは今の子どもたちに経験させたい要素を取り入れた新たな遊具を私たちの手で作り上げていきます。今までありがとう!

新たな遊具に!

現在、東側にある登り棒を中央部に移動し、子どもたちが挑戦したり、ほっとしたりする場所へと改造します。これからの話し合いによってデザインを決め、数回に分けて作業していくため、完成するのはまだ先になりますが、どんな遊具になるのか楽しみにしててください。12月の園庭作業では、この遊具の改造も行います。

園庭改造後の子どもたちは、こんなことして遊んでいます!



遊び方は自分たちで考える!そして見つけた楽しい遊び方



思いをめぐらせ、戦わせ、友だちと作り上げていく自分たちの遊び場



草で手を切る経験も大事! やってみて気が付く学びもたくさんあります。失敗が失敗でなくなる園庭に。



大きい子をも見て学ぶ 園庭では、自然な交流が見られます。

誰でも登れるのは面白くない! 自分で登ったから得られる達成感。そして、周りで沸き上がる「いつか自分も…」という思い



こんな楽しみ方はいかが? 気づいてほしいと願い、遊びを提案することもあるんです。



木登りって結構頭を使うんです。どこに足をかけたらいいのかな? 登り方は決まっていらないし、やっぱりちょっと怖いので、真剣に取り組めます。

たくさんのご応募 ありがとうございます!

今回は16名の方が参加を希望してくださいました。園庭改造に興味を持ってくださった方が増え、とても心強く思っています。親子も保育者もみんなで楽しんできましょう!

